

# かんきょうを考えるコーナー

環境課

今月の環境キーワード

## グリーンマーク

古紙を再利用した雑誌、トイレトーパー、コピー用紙などの製品についています。古紙を有効に利用して森林資源を守り、緑豊かな暮らしをはぐくむためのシンボルマークです。

## 環境フェアいけだ

『未来に残そうきれいな池田町』を開催します

- 日時：10月26日（日）  
午前9時～午後1時まで
- 場所：池田町中央公民館
- 内容：環境活動団体による体験教室やパネル展示などを予定しています。当日は、ご来場の皆さまにエコ商品を配布します。ご家族そろってのご来場をお待ちしています。



## 『マイマイガの防除について』

テレビでは建物の外壁や街灯柱に産みつけられた卵塊を掃除機で吸い取ったり、削り落とす様子が報道されていましたが、実はこれが最も効果的な防除法です。雌は生涯に一つしか卵塊を産まないこと、一つの卵塊の中には100～1000個の卵が産みつけられていること、卵の期間が夏から翌年の春までと長いことから、非常に効果的なのです。

外壁に産みつけられた卵塊は、孵化しても餌にたどり着けないから、放っておいても良いのでは?と思いがちです。しかし、マイマイガの幼虫は別名「ブランコ毛虫」と呼ばれ、孵化した幼虫は、糸を吐き、風に吹かれて分散する習性があるので、取り除いておく必要があります。

マイマイガは約10年周期で大発生し、2～3年継続する傾向があるとも言われており、今後も発生する恐れがあります。卵の除去方法についてご紹介します。

### 卵塊対策

- ①あまり硬くない先が平らなもの（例：ペットボトル）ではがす。
- ②高いところにある卵塊はガンノズルなど高圧の水で洗い落とす方法があります。

### 【ペットボトルを使用した例】

- ・ペットボトルを半分に切断します。
  - ・壁に付着した卵塊を除去する際、角形のペットボトルが便利です。
- はがした卵塊はもえるゴミの日などで処分してください。卵塊を覆っている鱗毛が舞い上がり、吸い込んだり目に入ったりすることがあるので、マスクやゴーグル、手袋を着用してください。

〈マイマイガに関する詳細については、池田町のホームページ等をご覧ください。〉

- 出前 EMボカシの不思議  
日時 10月14日（火）、10月21日（火）  
午前9時30分～午後12時まで  
会場 リサイクルセンター
- お問い合わせ先  
NPO法人 Waコミュニティ  
(石井 ☎45・3580)、  
角田 ☎45・2039) まで
- 活性炭入りボカシ・マジックバケツ販売店  
JAいび川池田支店 ☎45・2043  
JAいび川グリーンステーション ☎45・0210  
中村種苗 ☎45・2265  
中野種苗 ☎45・4851  
富士屋種苗 ☎45・6087  
マジックバケツはEMセリミックス配合のバケツで良質の生ゴミ肥料が作れます。

このエコクッキング教室で排出の生ゴミはEMボカシで処理、エコ農園へ。次世代に生きる子や孫達に緑の地球を残そう、エコライフを伝えよう!

## 今月の Environmental Day

去る8月7日、中央公民館調理室で、大垣女性の友の会（北村、星、他3名の指導で、鍋帽子を使ってエコクッキング教室を開催。小学生5名を含め、30名の参加があり、沢山の鍋帽子を持参で、親切、丁寧な教えてくださった友の会の皆様には、クッキング以外にも多くの学びをいただいた。

夏野菜を使ったのコールドスープ、ヴィンソワーズの作り方は、鍋にバターを溶かし、じゃが芋、玉ねぎの薄切りを入れ、炒め、スープを加えて煮立ったら、ふたをして、弱火で5分煮る。火からおろし、鍋帽子をかぶせて、10分から15分おく。といった具合で、正に省エネクッキングそのもの。その上、特上の美味しいスープが出来上がり、参加した小中学生達はメニューのすべてを完食であった。その感想は「ガスを使わず鍋帽子を使ってお料理スゴイ!」